

シリーズ

# 大阪壊し 橋下流

## ——維新政治を問う

### ③市民の足はいま(下)

#### 敬老バス有料化

#### 公約投げ捨てて自己負担を導入

前回のシリーズで赤バス廃止問題を取り上げました。実情を聞かせてもらった生野区の高齢女性の皆さんからは、赤バスだけでなく、敬老バス(敬老優待乗車証)について意見も相次ぎました。

大阪市民は70歳になれば敬老バスを使えば、地下鉄・市バスを無料で乗ることができました。ところが橋下市長はダブル選(11年)で掲げた「敬老バスは維持」「選挙公報」という公約を投げ捨て、13年度からは年間3千円の自己負担を導入しました。

昨年8月からは、1回乗車するごとに50円の利

用料を一律に徴収。1千円単位の駅の券売機で敬老バスのカードにチャージ(入金)しなければなりません。地下鉄とバス、バスと生野区では、「無料の

時は有難かった。3千円の負担は辛抱したが、1回50円になるというので、敬老バスはやめた。もうバスに乗らないようにしている「チャージ」というのが、よく分からない」などの声が寄せられました。

「所得に関係なく乗ることに50円徴収すること」が、利用者減につながっている」として山中氏は調査を行い、所得に応じたものに変えるなど制度設計すべきだと提案しました。

# 「高齢者に我慢」の行き着く先

ました。

#### 利用しているが複雑な気持ちに

現在、敬老バスを利用している人はどうでしょうか。

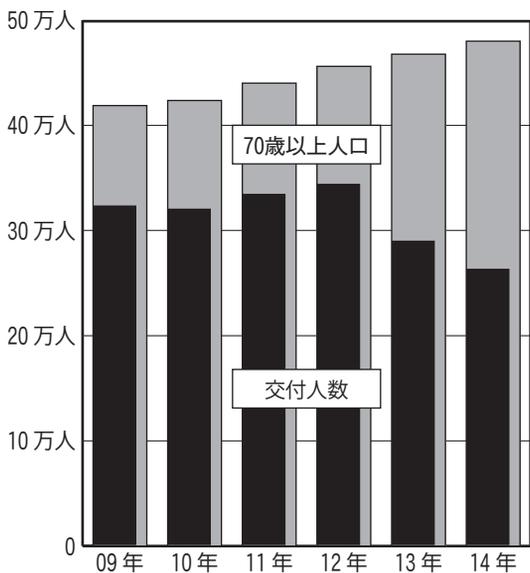
橋下氏が、「大阪市民はせいたく「子どもでも半額払っている」など主張してきたことについて、「府民・市民の所得の差や暮らしの差の違いつけ込んで、対立や分断を持ち込んで負担を押し付ける、ひどいやり方だ」と言います。

山中さんは言います。「子や孫に迷惑をかけるれない」と負担増に賛成する高齢者は、少なくありません。でも実際には若い世代には使われていない。結局、みんなを不幸にしていくのが、維新の政治ではありませんか」



記事中の山内さんが使っている敬老バス

#### 大阪市の70歳以上の人口と敬老パスの交付人数の推移



大阪市資料より作成(各年とも10月1日現在)。70歳以上の人口は増加する一方ですが、13年4月から3千円の自己負担導入後、交付人数は5万4千人も減少しています。

「所得に関係なく乗ることに50円徴収すること」が、利用者減につながっている」として山中氏は調査を行い、所得に応じたものに変えるなど制度設計すべきだと提案しました。

#### 負担を押し付けみんなを不幸に

山中さんはダブル選当

か」